

CUC公開講座2021 第4回「自然エネルギーを通じた地域価値の創造」

## 報告2

# 千葉商科大学の学生と 地域での環境活動

2021年8月20日

千葉商科大学 商経学部 経済学科2年

学生団体SONE

水出 翔

1

学生団体SONEとは

2

地域での環境活動

3

地域との活動から学んだこと

1

学生団体SONEとは

2

地域での環境活動

3

地域との活動から学んだこと

# Student Organization for Natural Energy

(自然エネルギー達成学生機構)

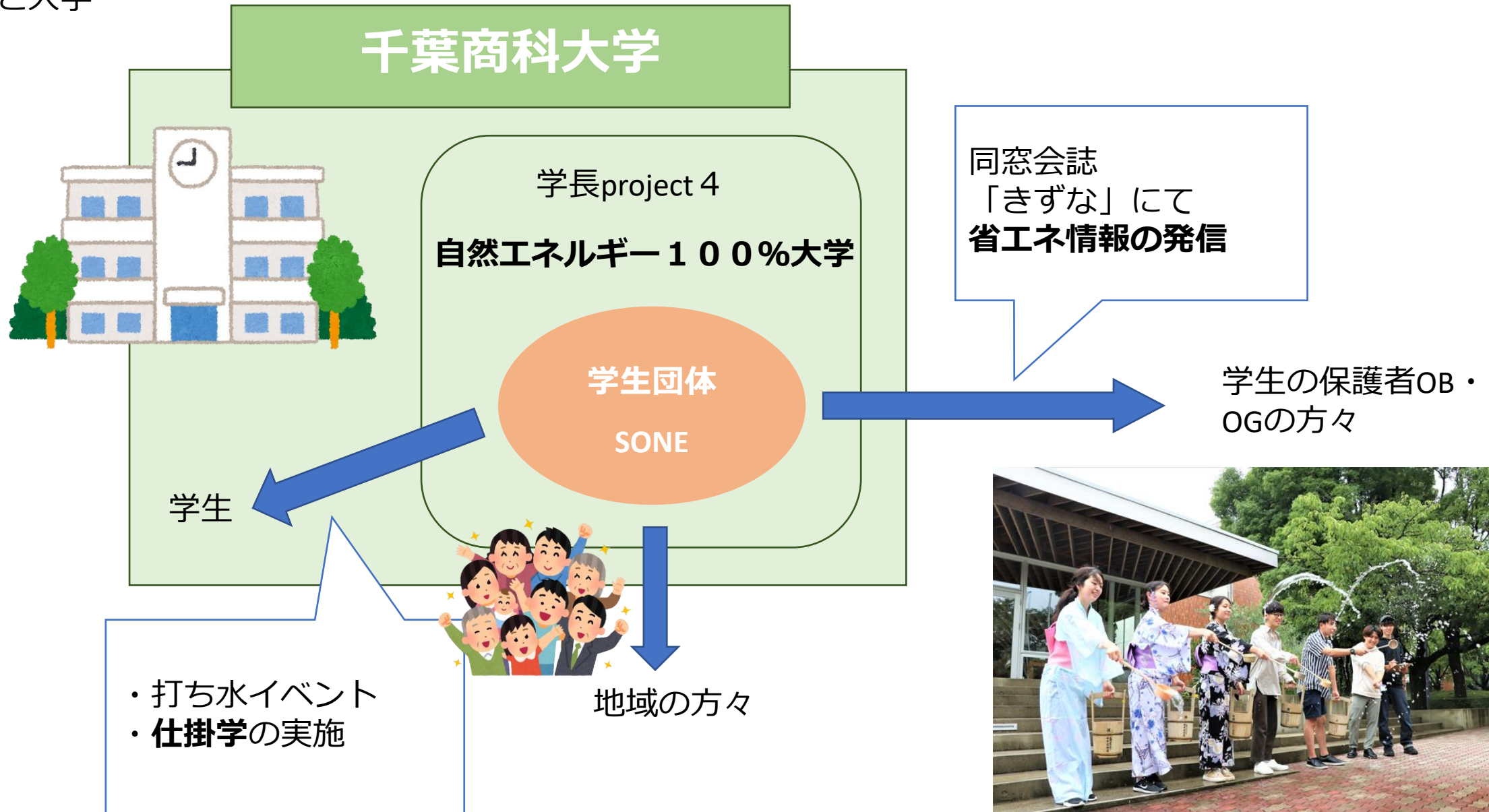


- 設立：2018年3月
- 活動目標：自然エネルギー100%達成  
(電気・ガス)
- 活動理念：学生に無理をさせない

## 【主な活動内容】

- 省エネ啓発活動
- 調査活動
- 発信活動





特集1 同窓会創立50周年の意義

特集2 同窓会創立50周年を迎えて  
同窓会役員、支部長からのご寄稿

特集3 活躍する同窓生  
～卒業生からのメッセージ～

学園より  
新型コロナウイルス感染拡大防止に対する  
本学の取り組み～秋学期の授業実施に向けて～  
本学の遠隔授業の取り組みについて

高橋 伸治  
柳田 均二  
橋中 里

大場 克美  
柏木 将宏



CUC 千葉商科大学

SONEから省エネ情報を発信する  
「省エネ生活のすすめ」を連載

CONTENT

**著書紹介**

- 「省エネ生活のすすめ」 SONEから読者のみなさまへ！
- 「学内者限定」在宅学習支援ページを開設
- ライオンサポートセンター(WSSC)オンライン公開講座と個別相談の実施について

**CUCレポート**

- The University DINING レポート
- 新型コロナウイルス対策実施中  
学生優先利用時間&営業時間変更のご案内  
SDGsに関する取り組み  
レジ袋有料化のお知らせ
- ライブラリーニュース
- 「学内者限定」在宅学習支援ページを開設
- ライオンサポートセンター(WSSC)オンライン公開講座と個別相談の実施について

**同窓会活動**

- 祝 千葉商科大学同窓会創立50周年
- 千葉商科大学同窓会の創立50周年に寄せて
- 人生100年時代を支援する母校の大学院教育
- 同窓会創立50周年によせて
- 同窓会創立50周年の意義
- 時代の流れとともに
- 創立50周年を振り返る
- 大学と共に歩む同窓会
- 同窓会創立50周年に当たり
- 活躍する同窓生
- 卒業生からのメッセージ
- 新型コロナウイルス感染拡大防止に対する本学の取り組み
- 本学の遠隔授業の取り組みについて

**学園より**

- 50代目学生自治会執行委員会
- オープンキャンパススタッフの活動
- 人の心を動かす「SONE」
- 本部からの報告
- 同窓会活動の自粛
- 会長・副会長・委員長会議開催
- 第50期第4回常任理事会開催
- 第50期第5回常任理事会開催
- 記念定期総会
- 愛知県支部 マスク・ハンドジェルを大学に寄贈
- 支部からの報告
- 同窓会からの報告
- その他瑞穂会・OB会・特定団体からの報告
- 同窓生寄稿
- 「同窓会専用ロゴデザイン最優秀賞」決定
- 卒業生のお宿・お店紹介「とり吉」

**同窓会活動**

- 実施されたら施し返す。恩返しです！  
真川川界隈にて
- CUC経営者会議ニュース
- 教育後援会ニュース
- 地球を理解し世界を知る

**連載**

- ニース・イネスト
- 「サレニス創造学部」CUC ETHICAL DAYS 2020を開催
- 「政策情報学部」まちづくりオンラインゲーム「どっちの政策でSHOW！」を制作
- 本学の改革力が高い評価
- 抗ウイルス・抗菌作用剤の塗布作業を実施
- 2020年度瑞穂祭の開催中止
- 国際センターニース
- コロナに負けない国際センター—Virtual International Square—
- キャリア支援センターニース
- 春学期・遠隔就職支援に関する報告
- 地域連携推進センターニース
- 2020年度CUC市民活動サポートプログラム（履修証明プログラム）開講中
- 2020年度地域志向活動助成金受給者決定
- 大学コンソーシアム市川産官学連携プラットフォーム
- 京成電鉄株式会社、東京ベイ信用金庫、千葉県税理士会市川支部と包括協定を締結

安藤 崇	93
伊藤 雅敏	68
半澤 広幸	67
五反田 克也	75
川瀬 功	82
小峰 文晴	66
	64
	60
	58
	54
	51
	51
	51
	50
	50
	50
	50
	50
	49
	48
	47
	44
	35
	26
	14
	13
	12
	10
	9
	8
	7
	6
	4

**同窓会会長挨拶**

- 同窓会創立50周年を迎えて
- 祝 千葉商科大学同窓会創立50周年
- 千葉商科大学同窓会の創立50周年に寄せて
- 人生100年時代を支援する母校の大学院教育
- 同窓会創立50周年によせて
- 同窓会創立50周年の意義
- 時代の流れとともに
- 創立50周年を振り返る
- 大学と共に歩む同窓会
- 同窓会創立50周年に当たり
- 活躍する同窓生
- 卒業生からのメッセージ
- 新型コロナウイルス感染拡大防止に対する本学の取り組み
- 本学の遠隔授業の取り組みについて
- 50代目学生自治会執行委員会
- オープンキャンパススタッフの活動
- 人の心を動かす「SONE」
- 本部からの報告
- 同窓会活動の自粛
- 会長・副会長・委員長会議開催
- 第50期第4回常任理事会開催
- 第50期第5回常任理事会開催
- 記念定期総会
- 愛知県支部 マスク・ハンドジェルを大学に寄贈
- 支部からの報告
- 同窓会からの報告
- その他瑞穂会・OB会・特定団体からの報告
- 同窓生寄稿
- 「同窓会専用ロゴデザイン最優秀賞」決定
- 卒業生のお宿・お店紹介「とり吉」

**同窓会活動**

- 実施されたら施し返す。恩返しです！  
真川川界隈にて
- CUC経営者会議ニュース
- 教育後援会ニュース
- 地球を理解し世界を知る

**連載**

- ニース・イネスト
- 「サレニス創造学部」CUC ETHICAL DAYS 2020を開催
- 「政策情報学部」まちづくりオンラインゲーム「どっちの政策でSHOW！」を制作
- 本学の改革力が高い評価
- 抗ウイルス・抗菌作用剤の塗布作業を実施
- 2020年度瑞穂祭の開催中止
- 国際センターニース
- コロナに負けない国際センター—Virtual International Square—
- キャリア支援センターニース
- 春学期・遠隔就職支援に関する報告
- 地域連携推進センターニース
- 2020年度CUC市民活動サポートプログラム（履修証明プログラム）開講中
- 2020年度地域志向活動助成金受給者決定
- 大学コンソーシアム市川産官学連携プラットフォーム
- 京成電鉄株式会社、東京ベイ信用金庫、千葉県税理士会市川支部と包括協定を締結

勝田 啓示	4
内田 茂男	8
原科 幸彦	7
平野 泰宏	6
高橋 伸治	9
柳田 均	10
三橋 二夫	12
中里 稔	13
	14
	26
	35
	44
	47
	48
	49
	50
	50
	50
	50
	50
	51
	51
	51
	54
	58
	60
	64
	66

## ◆シャワーで省エネ行動◆

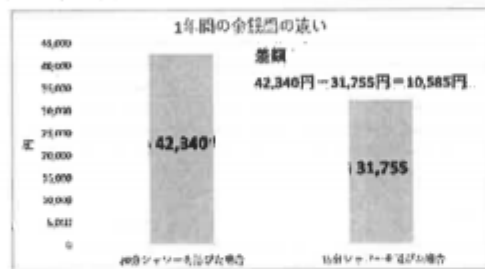
サービス創造学部2年 保科 友紀

今回は、シャワーでの省エネ行動を紹介したいと思います。どんな季節でも浴びるシャワーが省エネにつながれば、お財布にも地球にも優しい行動になると思います実践してみました。今回参考にしたのは、「エネチェンジ 電気とガスのかんたん比較 シャワーのガス代ってどれくらい？お風呂で快適節約法！」<sup>1)</sup>と「岐阜県 1年間で削減できるCO<sub>2</sub>の量の考え方 シャワーを1日2分減らす」<sup>2)</sup>です。

### ①金銭面<sup>1)</sup>

- ・シャワー1分間のガス代は約5.8円(都市ガスで40℃の温度で1分間浴びた場合)
- ・シャワーの時間を20分とすると5.8×20=116円
- ・毎日365日続けたとすると116×365=42,340円

シャワー時間短縮を意識し浴びてみた結果、5分間の短縮に成功しました。5分間短縮した15分で同じガス代を計算すると5.8×15=87円です。毎日続けると87×365=31,755円になります。10,585円の差です。省エネ行動の有無で比較すると、図のように年間でこれほどの違いが出てきます。



### ②二酸化炭素削減<sup>2)</sup>

- ・シャワーの時間を1分間短縮した場合のガス削減量25.32L
  - ・都市ガス1Lの使用量削減で、二酸化炭素は2.1g削減
  - ・省エネ生活でシャワーを5分短縮(毎日、1年間継続)
- シャワー時間を5分削減した生活により、年間約97,000gの二酸化炭素削減が可能になります。

私も驚きましたが、だらだらと浴びていたシャワーを5分短縮するだけで、お財布にも地球にも優しい行動が可能になります。今日からでもできるちょっとした行動なので、皆さんもぜひやってみてください。

### 参考文献一覧表

- 1) エネチェンジ「電気とガスのかんたん比較 シャワーのガス代ってどれくらい？お風呂で快適節約法！」  
最終更新日：2020年6月4日  
<https://enechange.jp/articles/shower-gas-cost> (最終閲覧日：2020年6月11日)
- 2) 岐阜県「1年間で削減できるCO<sub>2</sub>の量の考え方 シャワーを1日2分減らす」  
最終更新日：2014年12月15日  
<https://www.city.gifu.lg.jp/5286.htm> (最終閲覧日：2020年8月11日)

## 『省エネ生活のすゝめ』

～SONEから読者のみなさまへ～

### ◆炊飯器で省エネ◆

サービス創造学部3年 渡辺 裕也

家にいる時間が長くなるといつものより電気代がかかります。そこで電気代を少しでも減らせないかという考えから始まったのが今回の記事の内容です。

今回は経済産業省資源エネルギー庁のページで炊飯器の省エネについて調べて実践してみました。初めに省エネ方法についてです。まず、炊飯器の節電効果を高めるためには、使わない時にコンセントからプラグを抜くことが大切です。年間で電気45.48kWhの省エネになり、約1,240円の節約になります。二酸化炭素も21,178gの削減できます。しかし、どうしても保温しなければいけない場面もあると思います。そんな時に気になる炊飯器の保温と電子レンジの温め直しはどちらが省エネになるかについてです。炊飯器で保温する場合と電子レンジで温め直す場合の消費エネルギー量を比較すると、4時間以上保温する場合は、炊飯後にごはんを冷蔵・冷凍し、電子レンジで温め直したほうが電気代の節約になり、約7時間～8時間以上保温する場合は、ごはんを2回に分けて炊いたほうが省エネになります。

以上のことを踏まえて私は家族の中で炊飯担当となり、今まで時間が定まっていなかったご飯の時間を家族と正式に決めました。そして、家族でご飯を食べる時間にご飯が炊けるように準備をしました。そうすることによって、保温時間が無くなり、家にずっといることで乱れがちなごはん時間だったのが、規則正しいごはん時間になるという副産物もついてきました。

省エネを意識すると今までの生活も改善されて一石二鳥になったので、今後は別の省エネ方法も試していこうと思いました。今回の炊飯器の省エネは年間で見ると金額的に大きくありませんが、他の省エネ方法と合わせてやってみると塵も積もれば山となり、大幅な節電になるので皆さんもぜひ実践してみてくださいね。

### 参考文献

- ・ 経済産業省資源エネルギー庁 無理のない省エネ節約  
[https://www.enecho.meti.go.jp/category/saving\\_and\\_new/saving/general/howto/kitchen/index.html](https://www.enecho.meti.go.jp/category/saving_and_new/saving/general/howto/kitchen/index.html) (最終閲覧日：6月13日)
- ・ 経済産業省資源エネルギー庁 家庭の省エネ徹底ガイド  
[https://www.enecho.meti.go.jp/category/saving\\_and\\_new/saving/general/more/img/home-ecology.pdf](https://www.enecho.meti.go.jp/category/saving_and_new/saving/general/more/img/home-ecology.pdf) (最終閲覧日：6月13日)

## きずな 発行までのスケジュール

5月上旬（GW前）	SONEの企画会議にて <b>コロナ禍でも可能な意識啓発の方策</b> を検討 →候補として <b>同窓会誌</b> （10・2・6月発行）での <b>情報発信の可能性</b> を 模索
5月（GW明け）	プロジェクト4の教員に相談
5月中旬	当時のプロジェクト4リーダー宮崎みどり教授より省エネ記事の 実施許可 宮崎教授を經由して <b>編集事務局</b> （庶務課）へ <b>打診</b> （可能との連絡）
6月下旬	記事原稿（案）が完成
7月（春学期中）	記事のセレクションを実施 → 第1弾の発行として2記事を選ぶ
8月（お盆明け）	<b>10月号掲載の記事の完成</b>
8月末	編集事務局へ原稿を提出
10月20日	<b>きずな10月号の発行</b>

※2月号・6月号も同様スケジュールで準備



1

学生団体SONEとは

2

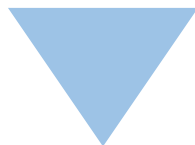
地域での環境活動

3

地域との活動から学んだこと

① エコルーティングプロジェクト

② 省エネ番組制作プロジェクト



意識啓発

情報発信

実践学習

## ①エコルーティングプロジェクト

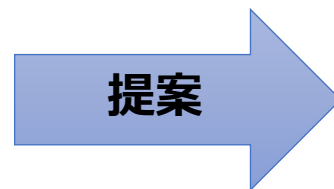
- 2019年から東邦エコリユーションが実施（SONEは2020年から参加）
- 株式会社イシドの課題を解決できる企画を提案
  - ・ 環境チェックシートを提案



東邦大学  
東邦エコリユーション



千葉商科大学  
学生団体SONE



株式会社イシド

セッティング及びコーディネートをサポート「任意団体STARMAN」

株式会社イシド：いしど式そろばん公式サイト> 企業情報（<https://www.soroban.co.jp/company/>）



➤ **東邦大学と千葉商科大学から11名の学生が参加**

対象：株式会社イシド（千葉県白井市）

◆ 1973年（昭和48年）3月設立

◆ 全国270教室で そろばん塾を運営

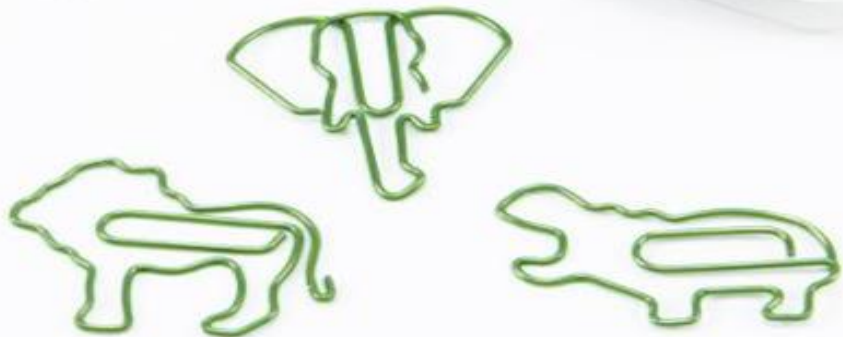
◆ 幼稚園生から小学生を中心とした幅広い年代生徒が在籍

## 実際の提案内容：環境チェックシート～地球に優しい人になろう～

1. 環境について記載されているチェック内容を家庭で実践  
してもらおう

2. 景品を抽選で渡す

景品にしたWWF  
アニマルクリップ



おめでとう

ちぎゅう  
「地球にやさしい人ってだーれだ？」のイベントで  
ちゅう  
抽せんにあたりました！

ちぎゅう  
地球にやさしいアニマルクリップをおくりします。  
このクリップをつかうと、動物たちを救うことができます！  
たくさん使ってね。

ちぎゅう  
地球にやさしいことをたくさんしてくれてありがとう！  
これからもつづけてね。

エコルーティングプロジェクト  
とうほうえこりゅーしょん がくせいだんたいそね  
東邦Ecoiution 学生団体SONE

## 主なスケジュール

2020年	
11月～12月	第1案提案内容の検討、提案
12月	新案の <b>チェックシート</b> を発案
12月～2021年4月	チェックシートの実施内容検討
2021年	
4月15日～4月18日	各教室で生徒へのイベント案内
4月19日～5月6日	イベント実施
5月17日～5月24日	報告会の準備
5月25日	プロジェクト報告会（オンライン）

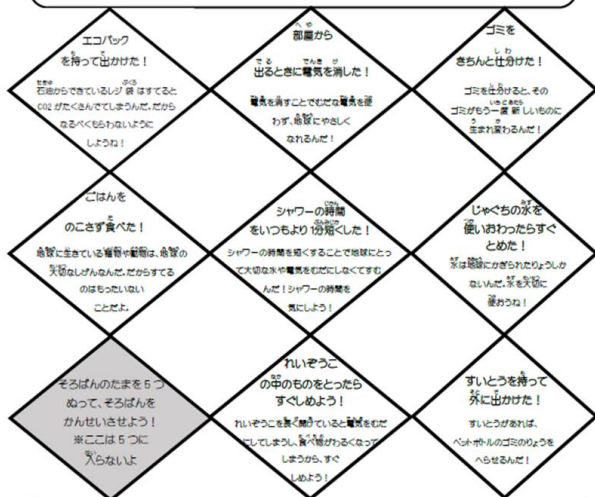
# 提案「環境チェックシート」

ちきゅう  
「地球にやさしい人になろう！」チェックシート

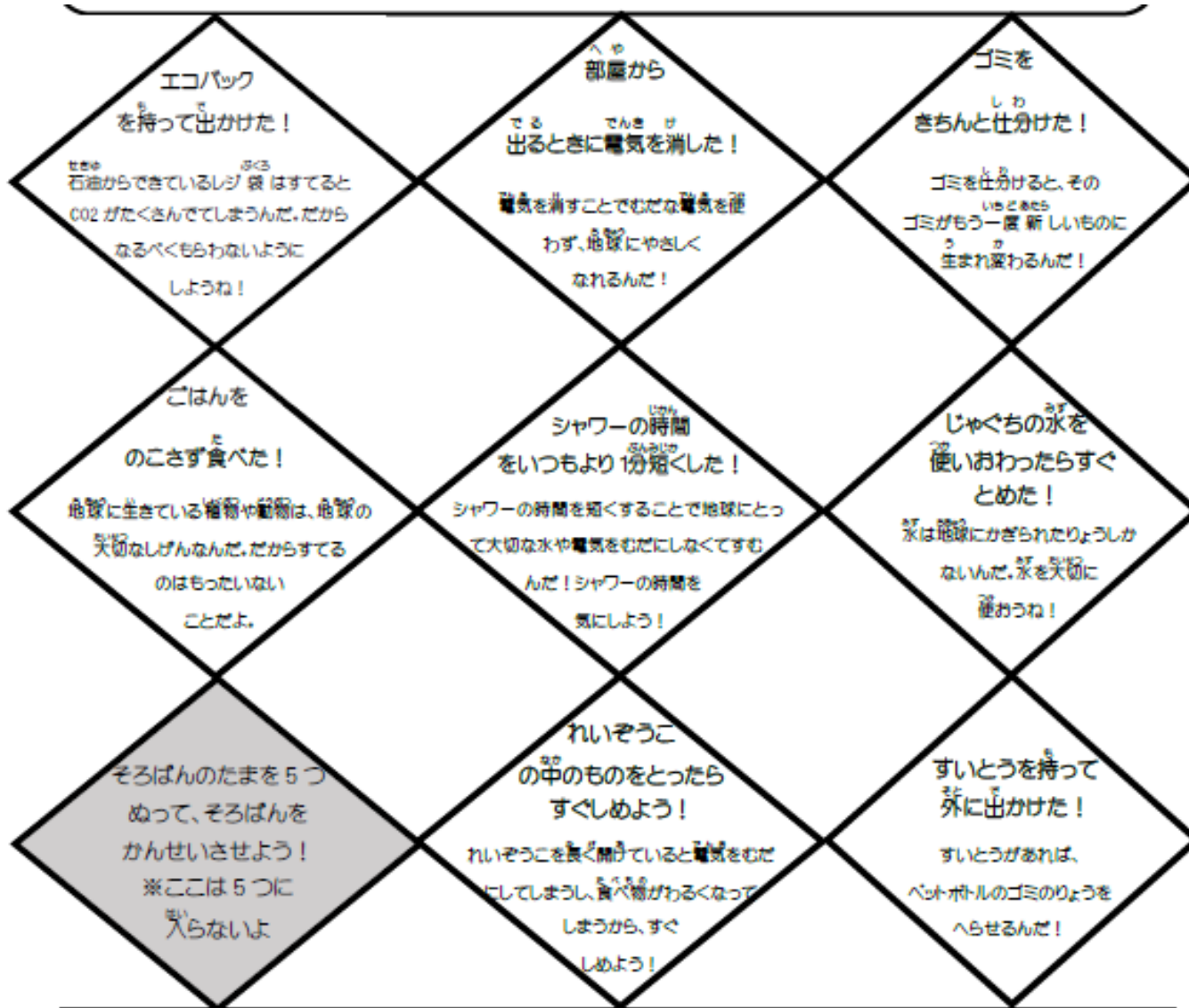
地球をみんなですくおう！

やりかた

1. そろばんをかんせいさせるために、書いてあることをやってみよう！
2. 書いてあることが1回でできたら、そろばんを好きな色でぬろう！
3. 5つそろばんの中のことができたなら、うらのアンケートをしよう！
4. 先生のところへ持って行こう！



ここまでがんばってくれてありがとう！  
うらのアンケートにこたえたら、先生のところへ持って行こう！



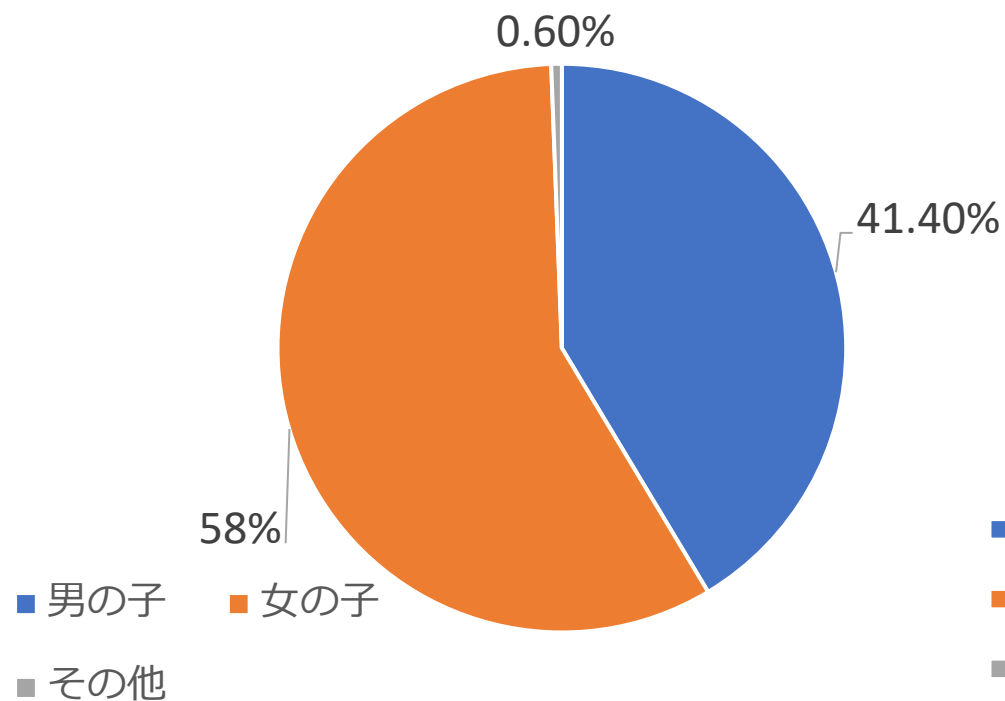
## チェックシート全体像 (提出版)

## チェックシート拡大画像

- 39教室、722名の生徒さんにご参加いただきました
- 多くの小学生に環境チェックシートにチャレンジしていただきました

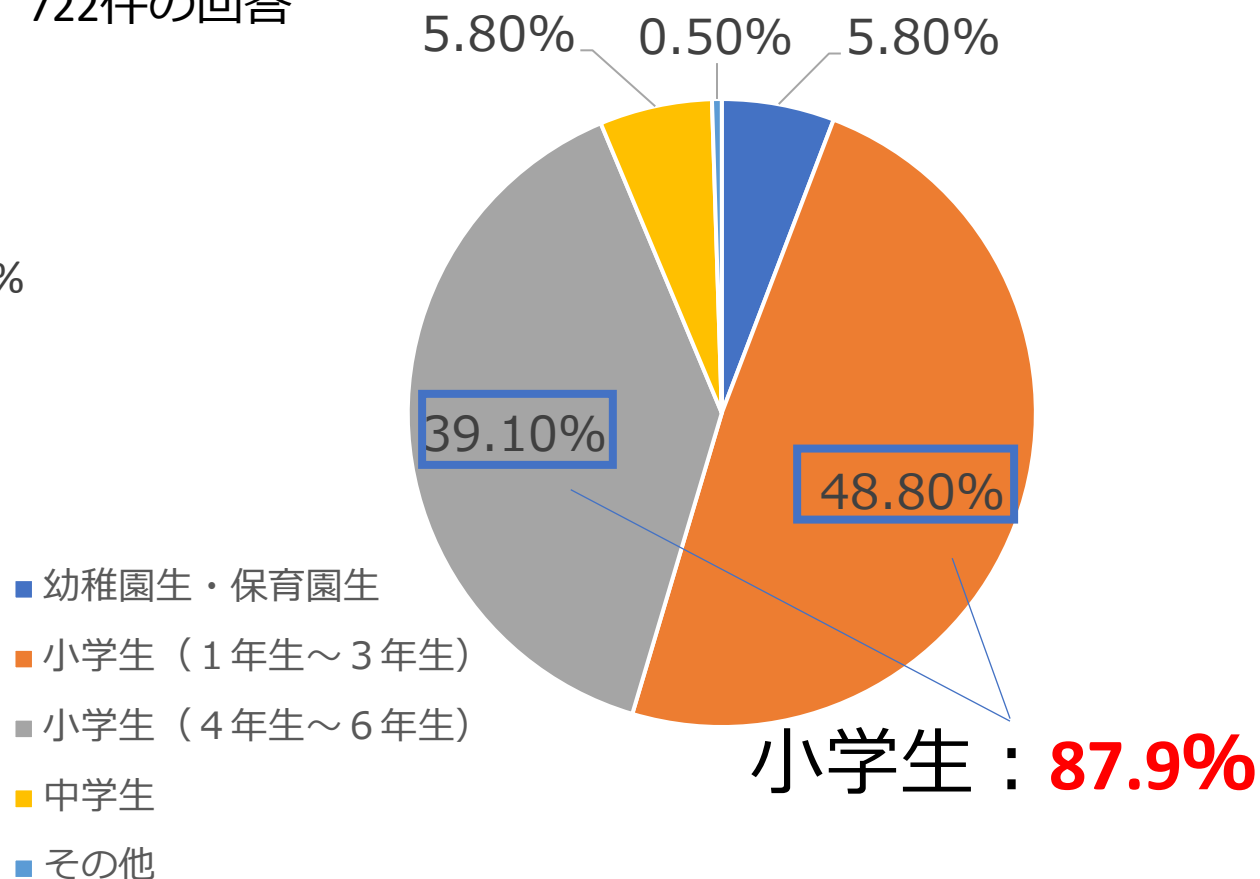
性別

722件の回答



学年

722件の回答

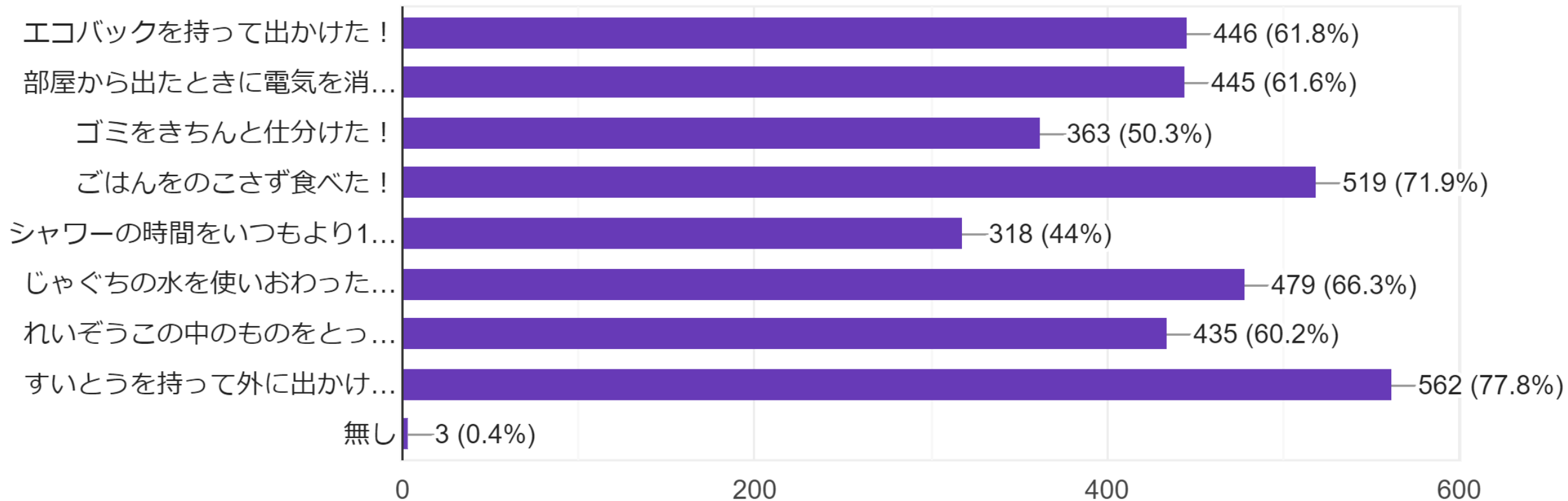




## ➤ 省エネ活動に「楽しく」参加してもらうことができました

### 楽しかった項目

722件の回答（複数回答）



# CO<sub>2</sub>の削減量

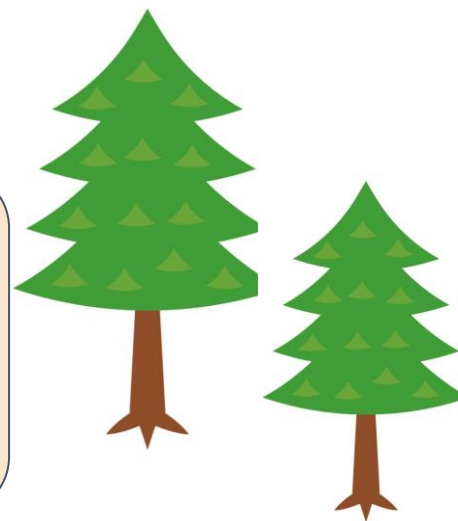
➤ 生徒722人が取り組んだ計算可能なチェックシート8項目のうち6項目

CO<sub>2</sub>削減量合計 372.2kg

(チェックリスト班による推計)

イベント実施期間  
約2週間ほどで

杉の木 26本



## ②省エネ番組製作プロジェクト

- 環境問題や取組みを地域に向けて発信
- コロナが企画・制作期間に影響

2020年	
7月	本学の特別講義「市川学」にてジェイコム市川と接点 ➤ 株式会社ジェイコム市川・浦安局との打ち合わせ（7/31）
8月	ジェイコム市川に <b>共同番組制作の提案</b> ➤ 柏木教授に番組制作の協力をいただく
11月	省エネ番組制作に向けて企画書の作成
2021年	
4月7日	単発企画でジェイコム市川への番組制作提案を検討
6月3日	スタジオチーム（柏木ゼミ）と今後の制作について会議を実施
7月23日	大学内でカメラリハーサルを実施

## ➤ コロナの影響で、企画内容や制作に影響があったものの7月にカメラリハーサルを実施



本館前にてリハーサルを実施



スタジオチーム協力によるカメラリハーサル

1

学生団体SONEとは

2

地域での環境活動

3

地域との活動から学んだこと

1. 楽しく環境について考えるという経験
2. 環境問題について熱心な企業と連携を通じた学び
3. 地域の企業の取組みやその会社らしさ
4. 外部とのスケジュール調整の難しさ、大事さ